

E-44 女子青年の人格形成に及ぼす影響について(第7報)
帯広大谷高 山田昌子

目的 女子青年期の情緒的経験は、将来の家族関係を構成する上でどのような影響を及ぼしているかと検討する。

方法 現在青年期にある女子と既に青年期と過ぎ、家族の中で母親として経験しているものを対象とし、前者には現在の家族、交友、教師対生徒関係を中心とした経験にどのような情緒的反省、即ちどう認知しているかということと、将来家族関係を構成する上での結婚観、夫婦間関係、子ども観、育児観を問う。一方後者には同様のことを、青年期の経験については過去のものとして、家族関係構成については現在のこととしてきく。その上で両者と比較してみる。

結果 この調査で解ったことは、青年期に於ける女子の様々な情緒的経験は、家族関係を構成する上での結婚観、夫婦間関係、子ども観、育児観等に極めて大きな影響をもつものと考えられる。特に女性のもっている母性は、この時代に於いてそれぞれ異なる情緒的経験の中から具体的なものともらはじめられているとみられる。